

2016年 経済情報学科教員業績一覧（2016年1月～12月）

雑誌名	経済学論集
巻	88
ページ	109-114
発行年	2017-03-17
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10232/00029520">http://hdl.handle.net/10232/00029520</a>

# 2016年 経済情報学科教員業績一覧

(2016年1月～12月)

橋本 直樹

< 著書 >

『『共産党宣言』普及史序説』八朔社，2016年6月。

松川 太一郎

< 学会報告 >

「GDP推計の技術的・制度的側面と社会的条件 アフリカの経験から」  
経済統計学会2016年度九州支部例会（九州経済学会第66回大会）（九州大学），2016年12月。

三浦 壮

< 学会報告 >

「鉄道国有化から昭和恐慌期における旧岩国藩主吉川家の土地・株式投資：華族資本の形成と資産蓄積の経路に関する考察」社会経済史学会九州部会（鹿児島大学），2016年7月9日。

< その他 >

（調査報告書）

「近代日本における華族資本の形成と工業化投資に関する実証研究」公益財団法人高梨学術奨励基金『高梨学術奨励基金年報（平成27年度）』，2016年11月，275～282頁。

中島 大輔

< 発表論文 >

「A.モンタヌスの『日本誌』に描かれた Cangoxuma（鹿児島） - その資料的価値に関する一考察 -」鹿児島大学法文学部紀要『経済学論集』第87号，2016年10月。

< 翻訳 >

ハインツ＝ヨアヒム・ドレーガー『中世ハンザ都市のすがた - コグ船と商人 -』朝日出版社，2016年12月。

「ドイツ・EU関連ニュース」（EUの拡大および機構改革に関するドイツ語ニュースの翻訳・WEB公開。2016年1月～12月まで計99本）。

<http://ecowww.leh.kagoshima-u.ac.jp/staff/nakajima/kakudai.html>

< 学会報告 >

「長崎オランダ使節ファン・ゼルデレンとは誰か？ - A.モンタヌス『日本誌』に描かれた鹿児島 Cangoxuma から -」第68回日本独文学会西日本支部学会研究発表会（長崎大学），2016年11月。

城戸 秀之

< 論文 >

「現代社会論からみた地域社会の認識と地域情報化に関する試論——大分県臼杵市の事例をもとに——」鹿児島大学法文学部紀要『経済学論集』第87号，2016年10月。

王 鏡凱

< 論文(単著) >

「ステージファイナンスが企業の現金保有行動および過剰債務に与える影響」、『九州地区国立大学教育系・文系研究論文集』，第3巻第2号，No.6，pp.1-9，2016年3月。

「インセンティブ条件による最適資金調達契約の理論分析」，鹿児島大学法文学部『経済学論集』，第86号，pp.13-20，2016年3月。

< 論文(共著) >

王 鏡凱，楊楽，「連続投資モデルによる企業の多角化戦略の再考察：複数プロジェクトが同時進行するケース」，鹿児島大学法文学部『経済学論集』，第86号，pp.1-11，2016年3月。

大芝 周子

< 論文 >

「特産品の地域ブランド戦略 - 広島レモンの事例から」鹿児島大学法文学部紀要『経済学論集』第87号，2016年10月。

< 学会報告 >

「特産品の地域ブランド戦略 - 広島レモンの事例から」日本経営学会 第90回全国大会（専修大学），2016年9月。

平井 一臣

< 学会報告 >

「ポスト3・11の地方政治-原発問題をめぐる地方政治状況を中心に-」日本地方政治学会・日本地域政治学会（立教大学），2016年6月5日。

「Abe politics and post-war nationalism in Japan」世界政治学会（ポズナン・ポーランド），2016年7月27日。

「原発再稼働問題をめぐる政治過程-川内原発再稼働問題を中心に-」日本政治学会 (立命館大学), 2016年10月。

「現代日本の社会運動とイデオロギー-1968年を起点として-」同時代史学会 (首都大学東京), 2016年12月3日。

<その他>

共編著 『일본의 재해학과 지방부흥 (日本の災害学と地域復興)』 인터북스, 高麗大学校 グローバル日本研究院, 2016年9月。

北崎 浩嗣

<論文>

「鹿児島県における6次産業化の現状と可能性 - “薩摩西郷梅”ブランド化への挑戦」 『食農資源経済論集』第67巻, 第1号, 2016年4月。

片桐 資津子

<発表論文>

「活動的高齢女性の生きがい獲得とその変遷過程——内省と創発の概念に注目して」 ソシオロゴス編集委員会編 『ソシオロゴス』第40号, 17-40, 2016年10月。

<学会報告>

「高齢者ケア施設の管理職の日米比較研究——2つの模範的施設の事例分析」第89回 日本社会学会 (九州大学), 2016年10月8日。

”Administrative Conflicts Model for Long Term Care Facility: Case Study on Japanese Nursing Homes,” presented at the 2016 GSA Annual Scientific Meeting of Gerontological Society of America (GSA), November 16, 2016, New Orleans, Louisiana, the U.S.

<その他>

(講演)

主任介護支援専門員研修・講師「要介護高齢期への個別支援と地域支援の日米比較」, 平成28年度主任介護支援専門員研修 (市町村自治会館4階401号), 2016年12月15日。

林 亮輔

<学会報告>

「社会資本の空間的スピルオーバー効果に関する実証分析」, 単独報告, 日本財政学会第73回全国大会 (京都産業大学), 2016年10月。

<その他>

(研究会)

「地域政策と空間構造 - 企業活動に基づいた都市圏域の設定 -」, 単独報告, 平成27年

度第3回「広域連携に係る圏域等に関する研究会」(神戸都市問題研究所), 2016年1月18日。

「地域経済と社会資本に関する実証的研究」, 単独報告, 第64回 CAPS 研究会(京都大学経済研究所付属先端政策分析研究センター), 2016年1月27。

「地域政策と空間構造 - 企業活動に基づいた都市圏域の設定 - 」, 単独報告, 平成27年度第4回「広域連携に係る圏域等に関する研究会」(神戸都市問題研究所), 2016年3月30日。

「神戸市と姫路市との関係から見た一体性」, 単独報告, 平成28年度第1回「広域連携に係る圏域等に関する研究会」(神戸都市問題研究所), 2016年7月4日。

「圏域の経済的一体性に関する決定要因分析」, 単独報告, 平成28年度第2回「広域連携に係る圏域等に関する研究会」(神戸都市問題研究所), 2016年11月11日。

(競争的資金)

「企業立地の空間構造戦略に関する実証的研究 - 都市圏データを用いた集積の経済の検証 - 」, 野村財団 社会科学研究助成, 2016年4月~2018年3月。

(新聞)

「論点を問う 参院選かごしま 1」, 『南日本新聞』(南日本新聞社), p.1, 2016年6月30日。

「ふるさと納税 経済活性化に一役」, 『南日本新聞』(南日本新聞社), p.2, 2016年7月31日。

「ふるさと納税2.8倍」, 『南日本新聞』(南日本新聞社), p.4, 2016年12月21日。

西村 知

<論文>

西村知. 2016. 「マイクロ水力発電と住民問題」 萩野誠(編) 『マイクロ主力発電と地域経済 新しい地域再生の手段について』 北斗書房, pp. 42-47。

西村知. 2016. 「鹿児島県の島嶼経済に関する研究 英文文献を中心として」 高宮広土・河合溪・桑原季雄(編) 『鹿児島の島々 文化と社会・産業・自然』 南方新書, pp. 120-129。

Nishimura, Satoru. 2016. "Study of the Public Square in Amami Oshima: The Co-evolution of the Myar and the People." In Kawai, K., Terada, R., and Kuwahara, S. (ed.), *The Amami Islands: Culture, Society, Industry and Nature*, pp. 43-49. University Research Center for the Pacific Islands, Kagoshima.

Nishimura, S. 2016. "Profiling the Industries in Amami Islands." In Kawai, K., Terada, R., and Kuwahara, S. (ed.), *The Amami Islands: Culture, Society, Industry and Nature*, pp. 19-21, Research Center for the Pacific Islands, Kagoshima University.

- Nishimura, S. 2016. “ ‘Knot-working’ of Traditional Music across the Globe: A Case Study of African drumming in Ioujima Island”, *Journal of Marine and Island Cultures*, Volume 5, Issue 1, pp. 47-51, Institute for Marine and Island Cultures.
- 西村知. 2016. 「第54章 農業 コメ自給への挑戦と課題」大野拓司, 鈴木信隆, 日下渉 (編著) 『フィリピンを知るための64章』明石書店, pp.317-321。
- < 口頭発表(ポスター報告を含む)(単独) >
- 西村知. 2016. 「世界遺産富士山(複合遺産)に関する報告」第6回屋久島研究講座, 屋久島環境文化村センター, 熊本郡屋久島町。
- 西村知. 2016. 「離島振興におけるネットワークからノットワーキングへの進化 薩摩硫黄島における西アフリカのドラムスクールの事例研究」第20回進化経済学会東京大会2015, 東京大学, 東京都文京区。
- 西村知. 2016. 「奄美の集落力 シマの空間配置と環境保護」平成27年度薩南諸島の生物多様性研究成果合同発表会(文部科学省特別経費 薩南諸島の生物多様性とその保全に関する教育研究拠点形成, 鹿児島大学重点領域研究(環境)「奄美群島における生態系保全研究の推進」, 科研費(A) 亜熱帯生態系における水陸境界域の生物多様性保全の研究), 鹿児島大学国際島嶼教育研究センター, 鹿児島市。
- Nishimura, S. 2016. What is the role of an ‘innovator’ in the Fijian villages? フューチャー・アース本格研究(試行)「貧困条件下の自然資源管理のための社会的弱者との協働によるトランスディシプリナリー研究」全体会議. 総合地球環境学研究所, 京都市(2016. 10. 2).
- Nishimura, S. 2016. History of a Japanese Emigrant in the Philippines and His Descendants. *National Lecture on Social History*, Polytechnic University of the Philippines, Manila, Philippines (2016. 11. 11).
- < 口頭発表(ポスター報告を含む)(共同) >
- Nishimura, S. and Elane, A. 2016. "History of Murata Family from 1915 to 2016: A Story of a Japanese Emigrant to the Philippines and His Descendants. *The 21st Young Scholars' Conference on Philippine Studies in Japan*, Kagoshima University, Kagoshima (2016 6. 26).
- Ogawa, R. and Nishimura, S. 2016. Volcanic Ash Collection System by local people at surrounding municipalities of Mt. Sakurajima. Poster presentation at *Cities on Volcanoes 9*, Puerto Varas, Chile. (2017. 11. 21 & 22)
- Nishimura, S. Kuwahara, S. and Merli, C. 2016. Quality Survey by KU group. *HIVE 2<sup>nd</sup> Workshop*, Puerto Varas, Chile (2016. 11. 27).
- < その他(新聞記事, 学会司会・討論者) >
- 西村知. 2016. 「奄美の集落力 島の空間配置と環境保護」『南海日日新聞』(2016.1.8)。
- 西村知. 2016. セッション1「東南アジアの農村」(司会兼討論者), アジア政経学会2016

秋季大会 (2016年11月19日, 国際会議場, 北九州市)。

山本 一哉

<その他>

「奄美のさとうきび生産及び砂糖業と TPP」 『「鹿児島における政治・行政改革」 - 自治体改革プロジェクト報告書 - 』 (鹿児島県地方自治研究所), 2016年9月。

井原 慶一郎

<学会報告(講演)>

『「クリスマス・キャロル」の新訳について』 ディケンズ・フェロウシップ日本支部2016年度春季大会 (近畿大学), 2016年6月。

福山 博文

<論文>

「CVMによる時間非整合性を考慮した地域のプロスポーツチームに対する支払意思額と割引率の推定」, 『地域政策科学研究』, 第13号, pp.1-18, 2016年3月。

“Role of public support in sports fan formation processes: Approach by cultural transmission model,” *Discussion Papers In Economics and Sociology*, Faculty of Law, Economics and Humanities of Kagoshima University, No.1601, November, 2016.

<学会報告>

“Role of public support in sports fan formation processes: Approach by cultural transmission model,” 日本応用経済学会秋季大会 (於 慶應義塾大学), 2016年11月26日。

日野 道啓

<学会報告>

「環境物品貿易の環境効果-環境技術の国際的普及に注目して」 国際経済学会第75回 (中京大学), 2016年10月。